

| | | | |
|---|--|-------|------|
| 区分 | 専門分野 | 単位 | 1単位 |
| 科目名 | 基礎看護技術Ⅶ | 時間数 | 30時間 |
| 講師名 | 専任教員 | 履修学年 | 1年次 |
| 概要 | 対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な薬物療法に伴う援助技術、知識、態度を習得する。 | | |
| 学習目標 | 1. 与薬の目的と与薬に伴う危険性、看護師の役割と法的責任を理解できる。 2. 安全に与薬を実施するために必要な基本的知識・技術を理解できる。 3. 注射実施に伴う危険性について理解することができる。 4. 安全な注射実施の方法を習得することができる。 5. 注射による患者の心理・身体的な苦痛が理解できる。 | | |
| 回数 | 学習内容 | 授業形態 | |
| 1 | 1. 与薬の基礎知識（薬剤の管理・誤薬防止含む） 2. 与薬における看護師の役割 | 講義 | |
| 2 | 与薬の方法と特徴：経口与薬・口腔内与薬 | 講義 | |
| 3 | 与薬の方法と特徴：外用薬（吸入・点眼・点鼻・経皮的与薬・直腸内与薬） | 講義 | |
| 4 | 6Rの実施、直腸内与薬 | 演習 | |
| 5 | 注射法の基礎知識（針刺し事故の防止・事故後の対応を含む） | 講義 | |
| 6 | 注射の実施方法（皮下・皮内・筋肉内・静脈内） | 講義 | |
| 7 | 注射の実施方法（点滴静脈内・CV・輸液ポンプ・シリンジポンプ） | 講義 | |
| 8 | 注射器の取り扱い・アンプルカット、アンプルからの薬液の吸い上げ | 演習 | |
| 9 | 皮下注射（アンプルからの吸い上げ含む） | 演習 | |
| 10 | 筋肉内注射（バイアルからの吸い上げ含む） | 演習 | |
| 11 | 静脈路確保 | 演習 | |
| 12 | 点滴静脈内注射（準備から滴下まで）、輸液ポンプ・シリンジポンプ① | 演習 | |
| 13 | 点滴静脈内注射（準備から滴下まで）、輸液ポンプ・シリンジポンプ② | 演習 | |
| 14 | 1. 輸血療法の適応と種類 2. 輸血療法の管理 3. 輸血療法をうける患者の援助 | 講義 | |
| 15 | まとめ/試験 | 講義・試験 | |
| 使用教科書・教材・参考書 | | | |
| 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 看護技術プラクティス 学研 わかりやすい与薬 医学評論社 | | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| 筆記試験100% | | | |

備考

15回全て各クラスでの講義